

覆土 外周水路 その他

■雨水をコントロールし、安全向上に配慮した施工

- ①仮排水路の整備と濁水処理(工事に土砂等で濁った水を場外に排水しない配慮)
- ②雨水調整池の改修のタイミングと水路の設置(渇水期を狙った施工)
- ③工事時の環境等の監視
- ④工事後の効果の検証

覆土工事施工順序

既設の水路撤去、草刈等準備

仮排水路・濁水処理設置

放流水路改修

雨水調整池
土砂除去

雨水調整池改修

雨水調整池
接続水路工

外周水路工

覆土工

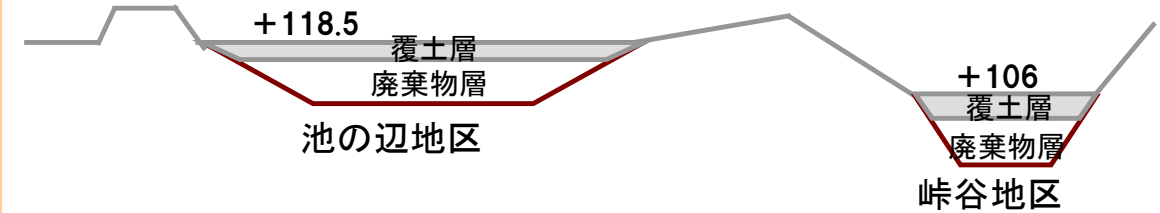
(ガス抜き設備工は
進捗に合わせて実施)

モニタリング
(工事時の環
境等確認)

モニタリング(対策の効果検証)

現段階

現在は、池の辺地区、峠谷地区ともに、埋め立てた廃棄物の表面を覆土(即日覆土)で覆っている状況である。



■雨水の積極的な排水と処分場の安定化を両立

- ①覆土の厚さは、最低1m以上
- ②覆土の最終高さは、当初計画(設置届等)の範囲内(構造的安全性への配慮)
- ③埋立地内部に過度の荷重を増加させないで、排水を積極的に実施できるように外周水路のほか、場内の排水ルートも確保
- ④埋め立てた廃棄物の安定化を阻害しないように、既存のガス抜き設備は維持

